



新所長あいさつ

所 長 小山一彦



4 月からボランティアインフォメーションセンターに着任いたしました。

私にとってボランティアと聞くと、昨今思い出されるのが東日本大震災でしょうか。

全国各地から大勢の方々が東北の地へと向かれ、がれき処理や炊き出し等数多くのボランティア活動に携わっておられた場面、テレビやインターネットなどを通してご覧になった方も多いと思います。私もそうですが、現地に行けなくても義援金や、被災地からの地場産品の購入など様々なかたちで現地の復興に協力された方々もたくさんおられたかと思えます。

内閣府が平成25年3月に、東日本大震災において、被災地に対する支援活動を行った方々、また被災地において支援を受けた方々双方(調査地域: 日本全国、調査対象: 15歳以上の男女個人)を対象に、その意識の変化を把握するため、インターネットを利用したアンケート調査が実施され、共に3,000人からの回答を基に、同年10月に発表された報告書によると、59.5%の方が東日本大震災に関連してなんらかの支援活動を実施しておられ、また被災地において支援



(奈良市ボランティアバスネットワークのメンバー) H23.5

を受けられた方にボランティア活動等の支援活動を受けたか否かについて尋ねたところ、「受けた」と回答した方が33.4%、「受けていない」と回答した方が66.6%となっています。

この報告書では、やはり情報提供や被災地のニーズと支援者側の思いをつなぐマッチングの仕組みが改めて重要であると示されています。

災害支援ボランティアに限らず、日頃からこういった課題に向き合い各ボランティア活動団体や個人支援者、またボランティアを希望されている受援者のニーズを的確に受け止め、また皆様のいろいろなお声に耳を傾け、より良いサポートを行っていただけるボランティアインフォメーションセンターを目指して日々努めて参りたいと考えております。

参考資料:「東日本大震災における共助による支援活動に関する調査報告書～支援側及び受援側の意識の変化について～」平成25年10月 内閣府防災担当より

第10号の内容

【第1面】

・新所長あいさつ

こやま かずひこ
小山 一彦

・平成26年度 ボランティアインフォメーションセンターの事業予定

【第2～4面】

・団体さん!

こんにちは
(順不同)

◆奈良県発達障害

支援センターでいあー

◆市民活動サークルえん

◆きみかけの森

◆にほんご・奈良・

わの会

◆奈良地域の学び

推進機構

《コラム/万里一空》

新コーディネーター

すえたけ かずゆき
末武 和之

【第5面】

・地域ではぐくむ

子どもたち

【第6面】

・お知らせ!

情報コーナー

◆「ボランティア

入門講座」のご案内

◆「ボランティア

活動先一覧」

◆ 図書の貸出開始

のお知らせ

◆情報コーナーの

おすすめ本!

◆事務局職員のご紹介

・連絡先・地図

・編集後記

平成 26 年度 開催イベント講座予定(日程未定のものもあります。)

■ボランティア入門講座(月に1回程度)

月に1回、当センターのコーディネーターが講師となつて、ボランティア入門講座を実施します。(P6に詳細日程など掲載)

■市民公益活動入門講座(年に4回程度) 団体対象に、活動の手助けとなる講座の開催。

①「待っていても寄附は増えない! 共感を呼ぶ方法で支援者と資金を集める!」

寄附金を募り、増やすために必要となる団体のファンづくりのコツや、ファンからの寄附金を募り、受け入れるためのヒントを学びます。

講 師 NPO 法人チュラキューブ代表 中川 悠氏

日 時 平成26年7月12日(土) 13:30~16:00



(写真)
講 師
中川 悠氏

②「ホワイトボード・ミーティング入門講座」

講 師 (株)ひとまち 宝楽 陸寛 氏

日 時 平成26年9月28日(日)

入門編 12:30~14:20 実践編 14:30~16:30

(「入門編」「実践編」定員各40名、両方申込可)

(その他の講座は次号に掲載。)

申込は「ならしみんだより」掲載後、受付開始します。

■市民公益活動フェスタ(仮称)の開催(次号に掲載予定)

■その他 (NEW!) 市民公益活動図書の貸出し(第6面に掲載)

(希望により最長14日を限度に本を貸出し)

(NEW!) 市民公益活動関係DVDの随時試聴



昨年の
2weeks
パネル展

団体さん！こんにちは

このコーナーでは、団体さんより寄稿いただき
団体紹介させていただきます。

団体名：奈良県発達障害支援センターでいあー

代表者：センター長 森山 貴司

住 所：奈良市古市町 1-2 奈良仔鹿園内

連絡先：TEL0742-62-7746 FAX0742-62-7747



1. 団体の概要

「奈良県発達障害支援センターでいあー」は、奈良県内に住む幼児から成人までの発達障害のある方（その疑いのある方）、ご家族、ご本人に関わるあらゆる支援者や機関を対象とした相談支援機関です。発達障害者支援法が規定する発達障害を持つ方への支援の拠点として、2006年に県から社会福祉法人 宝山寺福祉事業団が事業の委託を受ける形で発足しました。



講演会「発達障害のある子ども達への支援」風景

2. 活動紹介

本センターの主な活動は、相談支援、関係機関へのサポート、啓発・研修活動等です。

相談支援では、ライフステージを通じて発達、生活、進路選択、就労などに関する困りごとや支援についてのご相談をお伺いしています。様々な事情やニーズ、思いをご相談の方々と共有し、適切な機関をご紹介しますり、必要な支援が受けられるようにアドバイスや情報提供をしています。

関係機関へのサポートとしては、支援対象の方が身近な地域で支援が受けられるよう、各地域の相談機関や事業所、関係機関が抱えるケースに対し、バックアップをしています。発達障害に関する「でいあー」の専門性やノウハウをお伝えしながら一緒に支援に取り組むことで、支援を必要とする方が利用できる施設が一つでも増えればと考えております。さらに、ご本人がライフステージの変化に応じて、切れ目のない支援が受けられるよう、関係機関に呼びかけ、機関同士のネットワーク作りにも力を入れています。

その他には、一般の方々を対象とした発達障害の啓発を行う**講演会やイベント**、ご家族・支援者・ご本人を対象とした、発達障害と共に在る方向を模索していく**研修会を企画**しております。

3. テーマ「夢と希望」

発達障害のある方やそれに関わるすべての方の夢と希望を叶えるお手伝いが出来ればと思っています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

団体名 市民活動サークルえん

代表者：磯野 太郎

住 所：奈良市三条松町

連絡先：090-8885-4684

Email : en@circle-en.info

2. 活動紹介

■「ならボラ」

学生さんや働きざかりの若者に、休日の新しい楽しみ方として、奈良で活動できる多彩なボランティアプログラムを提供しています。

■「あまボノ」

趣味や特技を活かして、気軽に市民活動に関わることができる機会を提供しています。

■「ソーシャルえん足」

地域で活動するNPO団体の活動現場に訪問したり、意外と知られていないスポットやイベントへみんなで訪問するツアーです。



3. テーマ「夢と希望」

皆さんは、休日は何をして過ごしていますか？

友達や家族で遊びに出かけたり、買い物に行ったり、家でゆっくり読書やテレビを見たり、習い事をしたり…それぞれ充実した休日を過ごされているかと思えます。

「サークルえん」では、休日の新しい楽しみ方として、ボランティア活動を提案し、初めての方でも気軽にボランティアを始められるしくみをつくっています。

ボランティア活動は、地域で活動する団体や、ボランティアの人たちと関わることで、今まで知らなかったことを知ったり体験ができるだけでなく、日常では出会えないような人たちと出会えたり、今まで気づかなかった新しい自分を新発見したり、新しい世界が広がります。



素敵なハガキが完成！

初めての農作業。
知らない事が
たくさん☆

ならボラプログラムの様子

右から、『NPOのチラシ修正ボランティア(不定期実施)』

『農作業ボランティア(月1回実施)』

『お手紙作成ボランティア(月1回実施)』



みんなでワイワイ
お喋りしながら
チラシ修正♪



団体名 特定非営利活動法人きみかげの森

代表者:理事長 森岡 正宏

住 所:奈良県奈良市都祁馬場町 566

連絡先:TEL0743-84-0300 FAX0743-84-0320



➤ **サロン木屋庄**…毎月第3月曜日、先生を招いての「きみかげコーラス」のレッスンを行っています。

1.団体概要

2010年3月設立、会員数約350人。豊かな自然環境と地域の文化に触れながら、農山村と都市との交流をはかり、耕作放棄地や荒れた山林を蘇らせ、その事を通じて子どもや障害をもつ人達に生きる力と希望を与えることが出来ればと願っています。また、地域の特産品をつくり販売「きみかげの森」ブランドの開発を目指しています。更には、地域交流の場としてサロンを活用し、芸術・文化活動にも力を入れています。



2.活動紹介

➤ **癒しの森**…「きみかげの森」に作った池、その周辺に奈良原産、在来種の植物を植えて栽培し、魅力的なビオトープを作りたい。自然の中で様々な体験をし、実際に肌で感じることは、人格を形成する上でとても大事なことであるという思いから、特に子どもたちに森の中で様々な体験をさせたい。整備をする過程に参加して学んで貰ったり、イベントを行って共に楽しんだり、森をどんどん活用できるようにしていきたい。毎年行うイベント「森のフェスタ」も今年で第3回を迎える。



➤ **ぽちぽち畑**…「ポチポチ行こか」のポチポチ畑です。当法人設立時の目的でもある耕作放棄地での作物栽培。毎年、会員の皆様にも美味しい！と好評を頂いているジャガイモをはじめニンニクや渋柿等、都祁の土地に合ったものを栽培し、その農産物を加工し、都祁地域の特産を作りたいたと取り組んでいます。



3.テーマ「夢と希望」

行政や個人だけでは出来ないすき間を私共で担当し、自然と共生することによって人の生きる力の増進をはかってゆくことです。

団体名 にほんご・奈良・わの会

代表者:門 脇 順 子

住 所:生駒市小町町

連絡先:090-4292-2940 junkokadowaki@gmail.com



同じ地球に暮らす者同士！仲良く…

1.団体概要

「にほんご・奈良・わの会」は2008年5月、5人の有資格日本語講師によって、日本語を必要とする人たちへの日本語支援を中心に発足しました。講師全員海外での生活体験があり、異文化環境での子育てや生活に様々な苦労をした経験から、少なくとも日本語支援を通して日本在住の外国の人びとがうまく日本の環境に順応して暮らしていけるようにと始めました。また、日本語だけではなく日本文化や習慣なども一緒に学んでもらうようにしています。クラス内では互いの国の事情、習慣なども話し合い、驚いたり感心したりしながら相互理解を深めています。



先生との心通うおつきあい



日本語うまく
なりましたよ

2.活動紹介

現在、無料、有料の日本語クラスがあります。無料クラスは初級1、2、3の3クラス、中級1クラスです。留学生、社会人、芸術家、主婦など様々な人びとが仲良く楽しく勉強しています。また、国際交流という面でも活動しています。昨年はドイツベルリンの高校生室内楽団を受け入れ、県立高円高校音楽科の学生たちとの交流演奏会や、県立奈良図書館情報館での無料コンサートを開催しました。

3.テーマ「夢と希望」

「わの会」は同じ地球に暮らす者同士、仲良く助け合いながら暮らしていきたいと願っています。

団体名 NPO法人奈良地域の学び推進機構

代表者:代表理事 上中信幸

住 所:奈良市阪原町 1728

連絡先:Tel:0742-93-0029 E-mail:chiiki-manabi@kcn.jp



1.団体の概要

教育を通じて社会に貢献します

奈良県内等に在住する幼児・児童・生徒等に対して、各種体験活動支援や学習活動支援等の青少年健全育成等に関する事業、地域教育プログラムや教育施設の運営の活性化と有効活用をはかるための事業を行い、地域の学びの推進に寄与し地域の教育力向上を目的に活動しています。

2.活動紹介

◆ 自然体験及び生産活動体験事業

荒廃地を活用した里山整備や農地整備等の自然体験プログラム開発・実施。



白砂川は美しい川で住み心地抜群なんだよ～



白砂川でうなぎ獲りの仕掛けをレクチャー

◆ 教育施設運営支援事業

奈良市青少年野外活動センター指定管理。

◆ その他、学習活動支援事業や親子体験活動推進事業など

3.テーマ 夢と希望

私たちは、教育を通して社会に貢献することを目的に、「地域の子どもを地域で育てる」教育コミュニティづくりと 地域の学びを推進することで、子どもたちのよりよい育ちの環境を創造し、豊かな地域社会の実現を目指します。



野菜の収穫体験で子どもたちも大喜び



木工クラフト作り

万里一空

第8回

「シニア世代の魅力」

ボランティアコーディネーター 末武 和之

みなさんは『シニア世代』という言葉から、どんなイメージを思い浮かべますか？

ボランティアインフォメーションセンターの窓口には、市民公益活動に興味や関心を持った幅広い年齢の方々が相談に訪れますが、とりわけ、シニア世代と呼ばれる 60～70 代の方々のボランティア活動に関する相談はかなり多いです。

以前、私は市内の NPO 法人で職員として 1 年半ほど働いていました。そこでは、一般企業などを定年退職されたシニア世代の採用に積極的で、私が着任したときには、3 名のシニア世代の方々が職員として勤務していました。私自身、この世代の方々と机や肩を並べて働くのは初めての経験でしたが、みなさん心身とも非常に元気で、仕事や趣味など長年培ってきた知識や経験を活かして、抜群の職務能力を発揮されていました。

そこで、現在ボランティアを募集している、あるいは募集を検討している市民公益団体の皆様をお願いしたい



のは、活動や運営の即戦力として、ぜひ『シニア世代』の方々に積極的に受け入れていただきたい、ということです。ボランティアインフォメーションセンターでは、そのために必要な「ボランティア募集チラシの設置や掲示」、「団体のニーズに合ったボランティア希望者のご紹介」など、様々なサポートをさせていただきます。

また、このコラムをご覧になっている『シニア世代』の方々にお願いしたいのは、みなさんが仕事や趣味などを通じて長年培ってこられた知識や経験を、ぜひボランティア等の市民公益活動の場で発揮していただきたい、ということです。みなさんが得意とする分野、興味がある分野などのボランティア活動先がないか、必要な情報の収集や提供をさせていただきます。

みなさんの市民公益活動をサポートするために、ボランティアインフォメーションセンターでは様々な取り組みをおこなっていますので、是非ご利用ください。



地域ではぐくむ子どもたち

登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会

今回当コーナーでご紹介するのは登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会（会長：村内俊雄さん）です。

奈良市「地域で決める学校予算事業」の取組として、平成 26 年度に実施予定の〈とみきたスクール〉〈ひつじプロジェクト〉〈登美ヶ丘フェスタ〉などのお話を伺いました。

登美ヶ丘北中学校は昭和 59 年 4 月に、奈良市西部地域の人口増に伴い奈良県最北部の丘陵地を切り開き建設され開校しました。学校創立以来、周囲の環境は年を追うごとにめまぐるしく変わり、西隣には大規模な宅地造成が行われ、マンションや商業ビルが建設されています。新興住宅地のため地域のつながりは薄く、自治会活動による地域の連携づくりが課題です。

地元の方々が「子どもたちのため、地域のため」に、手作りの「夢と希望の街づくり」を実践されておられ、地域のつながりをより一層深める熱い気持ちが伝わる活動を紹介します。

1. 村内会長のプロフィール

日本で初めての「民間人教頭」で三笠中学校で 3 年間勤務。その後「学校と地域」の研究をする為に大阪市立大学大学院で研究を行い、現在「奈良の教育と観光」の活動を行っておられます。



村内会長

◆学校の先生にはなりたくなかった

地域や学校を巻き込んで大きなプロジェクトに取り組む村内会長ですが、実は「学校の先生にはなりたくなかった」と。

◆教育に魅力を感じられたのはどうしてだったのでしょうか…

ご両親や親戚が、皆教育者で、その中にいるのが嫌だったそうです。社会人 2 年目で、教育者だった父親が亡くなり、ふっと教育というものに興味を湧いたとのこと。そして、社会人になってから教員免許状を取得。教育に直接かかわることで、「企業の場合自分の努力の結果は、“業績”という数字でしかない」が、「教育は自分の言ったことが子どもたちにちゃんと伝わり応えてくれる」「人を育てる“教育”は素晴らしい」と考えるようになったそうです。

2. 地域教育協議会の取組

〈とみきたスクール〉



農園クラブの様子

Tomikita School



ロゴマーク設定

とみきたスクールは、5 校園（登美ヶ丘北中学校、同小学校、同幼稚園、東登美ヶ丘小学校、同幼稚園）の地域支援者で構成され、学校園での子育て活動を地域の支援と連携により、特色ある教育活動を展開されています。

「サマーセミナー」から発展したのが「とみきた塾」です。「農園クラブ」など 10 クラブ。中には「トレド（奈良市と姉妹都市）刺繍クラブ」という国際色豊かな活動もあります。

5 月に参加者を募集。定員に空きがあれば、誰でも参加できます。

総論賛成各論反対ってありますが、「やろう」って言うのと「よしよし」と言って人が集まってくれます。事業はビジョンと人脈が大切。



ひつじがええなあ

最強コンビの村内会長と吉川校長先生

〈ひつじプロジェクト〉 ～羊がええなあ…～

登美ヶ丘北中学校の西側斜面は草が繁り、除草作業が大変でした。数年間放置状態だったのを地域及び保護者の学校支援者約 20 名が集い、除草作業。毎年この急な斜面の作業は大変、そこで、地域教育協議会と校長先生が話し合いされました。校長先生が「羊がええなあ」とポツリとおっしゃったところ、「それええやん、やろう」となったそうです。

それで山添村の『めえめえ牧場』から羊をレンタル（1 ヶ月・年 2 回）し、放牧することで、西側斜面を整備する計画を考え実施されました。学校と地域が話しあって、羊を学校内で放牧するプロジェクトは、この地域にふさわしい創意工夫とあたたかな思いが込められた地域・家庭・学校の協働の取組と自負されています。



地域の方の除草ボランティア活動



除草された西側斜面



たくさん集まった子どもたち

放牧された羊の様子

6/7(土)「ひつじプロジェクト」オープニングイベント

〈登美ヶ丘フェスタ〉の開催

開催日：平成 26 年 9 月 20 日(土)11:00～16:00

場 所：東登美ヶ丘小学校 体育館・校庭

（詳細は登美ヶ丘フェスタ実行委員会 TEL0742-51-0178 迄）

「登美ヶ丘の地域力構築のため、よそでやっていない、ここ独自のフェスタをやりましょう」ということになったそうです。「これはすごい、こっちの方がすごいですよ」と、力も熱も入っています。

テントは地区社協の方が来て 10 張りくらいたててくれるそうです。

登美北中出身の音楽家と同中学校の吹奏楽団も入って演奏をしてもらって他、「ならのうまいもん」「奈良が一番」のイベントも企画。地域の人が集う初めての企画で、登美ヶ丘らしいイベントにしようと意気込んでおられます。

B 級グルメなどはやらない！奈良が発祥の地である饅頭と日本酒のフォーラムと販売…日本酒と饅頭のコラボ。奈良の人が一番好きなパンとコーヒーの紹介と販売などこだわりの企画もおいしい企画も満載です。



古都奈良にはあるけれど、世界遺産を身近に感じるというよりも、住宅地の快適さとおしゃれ感が漂い、生活は大阪の影響を強く受けている地域であると村内会長。

さまざまなこだわりからは、地域をこよなく愛する気持ちが伝わりました。

お知らせ！情報コーナー

「ボランティア入門講座」のご案内（7月～10月）

日 時： 7月26日（土） 10:00～12:00
 8月23日（土） 13:30～15:30
 9月27日（土） 10:00～12:00
 10月25日（土） 13:30～15:30



場 所：ボランティアインフォメーションセンター会議室
 申 込：講座名、開催日、氏名（ふりがな）電話番号を明記の上、
 電話かFAX、Eメールでお申込み下さい。
 締 切：各開催日の1週間前まで

「ボランティア活動先一覧」 を活用しましょう！



ボランティア
を探している
んですけど



※「ボランティア活動先一覧」は、当センター
他市内公民館・大学等に設置しています。奈良
市ホームページにも掲載しています。

図書の貸出開始のお知らせ

4月1日より、かねてより要望
のありました図書の貸出ができる
ようになりました。どうぞ、活動
にお役立てください。

詳細については、センター窓口
でお問い合わせ下さい。

- ◆貸出期間 2週間
- ◆1回につき 5冊まで
- ◆貸出希望の方は、本人
確認できるものをお持ちの
うえ、窓口にお越し下さい。

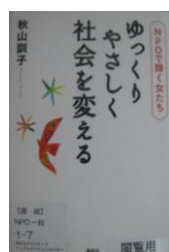


情報コーナーのおすすめ本

「ゆっくりやさしく社会を変える」

NPOで輝く女たち
著者 あきやま のりこ 秋山 訓子
出版社 講談社

1998年にNPO法(特定非営利活動促進法)が施行されて今年で16年目に入ります。いまNPOに参加しているのは自分たちの暮らす社会を、自分たちの手で良い方向へ変えていこうとする人たちです。彼らによって、企業のような利益追求でもなく、行政の施策でもない「新しい公」が生まれています。4人の実践者の話は、大いに参考になりますよ！



◆事務局職員のご紹介◆

昨年度よりお世話になっています。
よろしくお願いいたします。



松本雄一郎

庶務を担当しています。趣味は、鉄道です。知識は昔仕入れたまま更新をサボっているの、今役に立つかわかりません。



南本利治

奈良市ボランティア インフォメーションセンター

連絡先

〒630-8122

奈良市三条本町13番1号はぐみセンター1階

開館時間：9:00～21:00(月～土曜日) 9:00～17:00(日曜・休日)

休館日：年末年始

TEL:0742-93-8435 FAX:0742-34-2336

MAIL:volunt-info@city.nara.lg.jp URL: <http://www.city.nara.lg.jp>



《注 意》
平成26年3月25
日にセンター東側
高架下の新駐車場
がオープン。
今までの駐車場
は閉鎖されまし
た。

※駐車場の駐車台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。(満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用いただくようお願いします。)

【編集後記】

事務室内の様態替えや新しいメンバーにすっかり慣れて、みんなやる気を出しています。秋の「市民公益活動フェスタ(仮称)」開催に向けて、準備が始まりました。「こうご期待ください！」



奈良市ボランティアインフォメーションセンター

検索

